

# 「今里小学校の島唄・三味線と八月踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

大和村立今里小学校

## 2 学年・人数

1～3年，6年（計5人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

「島唄・三味線教室」毎月第2金曜日（音楽室・図書室）

「八月踊り（集落・郷友会合同）」令和3年9月11日（土）学校玄関前

### (2) 発表の日時・場所

令和3年9月26日（日）運動会（今里小学校校庭）

令和3年11月7日（日）学習発表会（今里小学校体育館）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### (1) 名称

「島唄・三味線」，「八月踊り（はちがつおどり）」

### (2) 由来

本校の特色の一つである三味線教室，昭和59年から地元の唄者の指導を受けながら今日まで引き継がれている。また，本校区では旧暦の八月に各集落で，五穀豊穡や家内安全のために「八月踊り」が伝統的に踊られている。今里では豊年祭（8月中旬の土日）や旧暦の九月九日等で行っている。

### (3) 構成等

島唄・三味線教室は，全児童5名がそれぞれのレベルで練習を積み重ね。学習発表会で成果を披露している。「チンダラ節・ワイド節」

八月踊りは，運動会前に集落・郷友会の指導を受けながら，今里集落に伝わる唄と踊りを参加者全員で伝承している。「庭踊りの歌・観音堂・もどし唄」

## 5 郷友会や地域との連携

今里集落では，八月踊り唄を唄える方たちの高齢化や若い世代が八月唄を唄えないという現状があった。このことを受け，八月踊りを絶やしてはいけないとの思いから集落行事や学校行事（運動会や学習発表会）で行う八月踊りを存続するために毎年，学校で事前に八月踊りの練習（9月土曜授業）をするようになり，集落の方や郷友会の方々の御指導の下，児童・保護者，職員全員で継承に努めている。運動会や学習発表会では，最後の演目に「八月踊り」を設け，参加者全員が輪になって参加者全員で成功を祝っている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

島唄・三味線は，月1回ペースで放課後活動として親子読書会とセットで位置付け練習している。八月踊りは，給食時間や清掃時間等に八月踊り唄を放送し，唄や踊りに慣れさせた。音楽の授業にも八月踊りを取り入れ，歌詞を覚えられるように練習をした。運動会前には，集落・郷友会の方々とも練習をした。

## 7 取組の様子



【島唄・三味線と八月踊りの練習の様子】



【運動会・学習発表会での八月踊りの様子】

## 8 参加児童・保護者・郷友会・教員等の感想・意見

### <参加児童>

- ワイド節がひけるようになってうれしい。
- 三味線をひきながら唄が唄えるようになりたい。
- 八月踊りの唄が少し唄えるようになってうれしかった。
- 踊りだけでなく、もっと唄が唄えるようになりたい。

### <保護者・郷友会>

- 低学年の子どもたちが、ワイド節を上手に踊っていたのが感動した。
- 1, 2年生が三味線を上手にひけることが素晴らしい。
- 八月踊りの伝統が継承されるのはいいことだと思う。
- コロナ禍が早く終息して参加者が増えるといいですね。(行事等)

### <教員>

- 事前に集落や郷友会と連携を取りながら、歌詞や演目を確認できたことはよかった。
- 年間を通して集落行事や学校行事で島唄・三味線や八月踊りが伝統として今里校区集落に伝わっていることを肌で感じることは今後も大切なことだと思う。
- 集落の伝統を継承していく活動を今後も校区全体で計画していかなければならないと感じる。